

森林（もり）づくりと木づかいのお便り

平成18年11月20日 第13号

CONTENTS

1 メッセージ（林野庁の紹介）

【1】『林野庁とはこんなところ』（森林保護対策室長）

2 施策紹介

【1】森林計画制度について

【2】集約化・提案型施業による森林整備の推進について

3 当庁の動き

【1】ニュースレター「集約化・提案型施業 かわら版」の発行について

【2】小笠原諸島の世界自然遺産候補地地域連絡会議等の設置について

4 緑化に関する情報

【1】森林ボランティア活動情報

【2】第30回全国育樹祭・広島県で盛大に開催

5 その他に関する情報（イベント情報等）

イベント情報

【1】農林水産省「消費者の部屋」のお知らせ

国有林野を利用した森林レクリエーションの週

お知らせ

【2】林政審議会の委員の公募について

編集後記

ご意見をお寄せ下さい。

1 メッセージ

『林野庁とはこんなところ』の13回目のご紹介は、林野庁森林整備部研究・保全課の森林保護対策（しんりんほごたいさく）室です。

ここでは、大切な資源である森林を未来へ残していくため、森林を害虫や鳥獣の被害、山火事などから守るための仕事をしています。

今日はそんな森林保護対策室をとりまとめている、瀬戸（せと）室長のメッセージをご紹介します。

「森林保護」と聞いた場合、人によってそのイメージは大きく違うと思います。当室で

は、昆虫類（及びこれに運ばれる線虫類）・菌類・ウイルス、野生鳥獣及び山火事の被害から森林を守る「森林保護」を業務の目的としています。

昆虫などでは、マツノマダラカミキリが運ぶマツノザイセンチュウによる松枯れやカシノナガキクイムシが運ぶナラ菌によるナラ枯れが、森林の大敵となっています。人間の病気と同様、早期発見・早期対応が最良の治療法であり、特に、早期発見には、地域の皆様のご協力が不可欠となっています。

次に、野生鳥獣では、シカの食害が広がっています。全国的にシカの分布域が拡大していると言われており、防護柵などによる防止に加え、関係者が連携し、適切な個体数レベルに維持することが必要となっています。また、本年は居住地周辺へのクマの出没が相次ぎました。その原因は、木の実の不作だけでは説明できず、居住地周辺に生息適地が増えているのではないかとも言われています。森林においては皮剥きなどの被害もあり、生息環境としての森林をどのように管理していくかが今後の大きな課題となっています。

最後に、山火事についてですが、主要な原因はたき火やたばことなっています。山火事の防止や早期発見・早期消火のためにも、地域の皆様や入林される方々のご協力が必要であり、森林保護に対する皆様のご理解をお願いする次第です。

## 2 施策紹介

### 【1】森林計画制度について

森林は、様々な働きを通じて私たちの暮らしを支える大切な存在です。しかし、森林の成長には長い年月が必要であり、一度損なわれると森林の働きを回復することは容易ではありません。ですから、森林の取り扱いは長期的な視点に立って計画的かつ適切に行う必要があります。

このため、森林法で設けられているのが森林計画制度です。これは、国と地方自治体が連携して森林関係の施策の方向と森林整備の目標を定め、適切な森林施業の指針を示すもので、全国レベルの全国森林計画、都道府県レベルの地域森林計画、市町村レベルの市町村森林整備計画、森林所有者等がつくる森林施業計画の4つの計画があります。

今回、全国森林計画の変更を行い、これにあわせて、林野庁ホームページで森林計画制度を紹介している「森林計画制度について」のページをリニューアルしましたので、ご覧下さい。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/sesakusyokai/sinrinkeikakuseido/sinrinkeikakutop.html>

### 【2】集約化・提案型施業による森林整備の推進について

本年9月8日に閣議決定された新たな森林・林業基本計画では、森林・林業に関する新たな施策の方向として、「100年先を見通した森林づくり」とともに、「国産材の利用拡大を軸とした林業・木材産業の再生」を掲げており、人工林資源の充実、加工技術の向上等をチャンスと捉え、川上と川下が連携し、需要者のニーズに対応し得る国産材の安定供給を推進することとしています。

このためには、安定した原木供給が鍵になることから、小規模で分散的に行われ

ている間伐などの森林施業をとりまとめていくため、川上における提案型による集約化施業の普及・定着化を推進し、森林整備の推進に寄与することとしています。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/sesakusyoukai/syuyakuka/top.html>

### 3 当庁の動き

#### 【1】ニュースレター「集約化・提案型森林施業 かわら版」の発行について

集約化・提案型森林施業の普及・定着化と国産材の安定供給体制の整備に向けた取組みを広く知っていただくため、森林組合や森林所有者、林業経営者、木材業界、行政機関、NPO等の幅広い関係者を対象に、ニュースレター「集約化・提案型森林施業 かわら版」を発行することとしました。

10月下旬に発行した創刊号では、「施業の集約化」や「提案型森林施業」の考え方、全国9箇所で開催した説明会の状況等を紹介しました。

今後、月1回程度の頻度で発行し、先進的な取組みや支援措置、集約化等に関する協議会の設立状況等について情報提供していく予定です。

ニュースレター「集約化・提案型施業 かわら版」

<http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/sesakusyoukai/syuyakuka/newsletter.html>

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/puresu/h18-10gatu/1026news.html>

#### 【2】小笠原諸島の世界自然遺産候補地地域連絡会議等の設置について

世界自然遺産の候補地の一つとされている小笠原諸島について、林野庁は、環境省等とともに、世界遺産への推薦に向けて地域の保全管理の推進方策等を検討するため、関係行政機関や関係団体による地域連絡会議と学識経験者による科学委員会を設置することとし、それぞれ11月中旬に初会合を開くこととしています。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/puresu/h18-11gatu/1114ogasawara.html>

その他のプレスリリースはこちら

<http://www.rinya.maff.go.jp/puresu.html>

### 4 緑化に関する情報

#### 【1】森林ボランティア活動情報

全国各地でボランティアによる森林づくりが活発に行われています。

(社)国土緑化推進機構では、誰でも参加できる全国各地の森林ボランティア活動の情報を発信しています。

詳細については、こちらをご覧ください。(国土緑化推進機構ホームページ)  
<http://www.green.or.jp/volun/info/katsudou.asp>

## 【2】第30回全国育樹祭・広島県で盛大に開催

第30回全国育樹祭が、10月22日(日)広島県三原市「広島県立中央森林公園」において、皇太子殿下の御臨席のもと、「緑いっぱい 育てる人の和 世界の輪」を大会テーマに、盛大に開催されました。  
全国育樹祭は、国土緑化運動の中心的な行事として、昭和52年に大分県で開催されて以来、毎年秋季に開催されており、広島県では初めての開催となりました。

詳しくはこちらをご覧ください。(広島県のホームページ)  
<http://www.pref.hiroshima.jp/nourin/shinrin/ikujuysai/index.htm>

## 5 その他の情報 (イベント情報等)

### イベント情報

#### 【1】農林水産省「消費者の部屋」のお知らせ 国有林野を利用した森林レクリエーションの週

具体的内容 全国各地にある「レクリエーションの森」のみどころと、スキーをはじめとした冬の森林レクリエーション利用について紹介するほか、国有林野を利用したボランティア活動など、様々な取組みを紹介します。

開催日 平成18年12月11日(月)～12月15日(金)  
場 所 農林水産省1階『消費者の部屋』(東京都千代田区)

詳しくは、こちらをご覧ください。  
<http://www.maff.go.jp/soshiki/syokuhin/heya/kokuyurin0612.html>

### お知らせ

#### 【2】林政審議会の委員の公募について

林野庁では、森林・林業政策に広く国民の意見を反映させ、国民の合意に基づいた政策の一層強力な推進に資するため、森林・林業政策に関する重要事項の調査・審議を行う機関である林政審議会の委員を一般から広く募集することとしました(2名以内)。

募集期間もあとわずかとなっております。皆様のご応募お待ちしております。

募集期間：平成18年10月25日（水）～11月24日（金）（当日消印有効）

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/rinseishingikaiiinbosyu.html>

#### 編集後記

11月に入り、各地で初雪の便りも聞こえてきました。寒さが苦手な私ですが、初雪と聞くと子どものようにワクワクしてしまいます。

消費者の部屋では、国有林野を利用した森林レクリエーションの週として、スキーなど、冬の森林レクリエーション利用などの展示を行います。各地のスキー場の情報など、盛りだくさんですので、これから遊びの予定を立てる方は、是非参考に見て下さい。

ご意見をお寄せ下さい。

御意見、御要望、又は転載を希望される場合は、下記編集発行先にメールにてお寄せください。

#### ご注意

メールマガジンに掲載したURLで、一部PDF形式のものがあります。

PDFファイルをご覧頂くためには林野庁ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/puresu.html>

をご覧になり、「Get Adobe Reader」のボタンでAdobe Readerをダウンロードしてください。

#### 編集発行

〒100-8952 東京都千代田区霞が関1-2-1

林野庁 広報室 TEL 03 - 3501 - 3967

E - mail : kouhou\_rinseika2@nm.maff.go.jp

メールマガジンのバックナンバーや配信停止の手続き及びメールアドレスなどの会員情報の変更は下記サイトで手続きをお願いいたします。

パスワードをお忘れの場合はパスワードの再発行をしてください。

バックナンバーは、こちらからご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/mailmagazine/mail.html>

#### メールアドレス等の変更

<http://www.maff.go.jp/mail/henko.htm>

変更には御登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。

#### メールマガジンの配信停止

<http://www.maff.go.jp/mail/kaijo.htm>

配信停止の際には御登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。

#### パスワード再発行

万一パスワードをお忘れの場合は下記より御登録いただいたメールアドレスを入力して、パスワードの再発行をしてください。

<http://www.maff.go.jp/mail/password.htm>